

福島第一原子力発電所の廃止措置等の安全確認に係る有識者懇談会の開催結果

平成２４年１１月３０日

福島県原子力安全対策課

１ 目的

廃止措置等に向けた中長期ロードマップに基づく国と東京電力の取組に関して、立地自治体における今後の安全確保の取組のあり方について、幅広い視野から検討を深めるため、事故前・後を通じて原子力発電所に関わって来られた有識者から御意見を伺う場として、懇談会を開催しました。

２ 懇談会

（１）日時 平成２４年９月１８日（火） １１時００分～１４時３０分

（２）場所 杉妻会館

（３）出席者 有識者

つのやま しげあき
角山 茂章 会津大学学長（原子炉工学（流体解析・エネルギー））

はせがわ まさゆき
長谷川 雅幸 東北大学名誉教授（原子炉工学（材料工学））

わたなべ あきら
渡邊 明 福島大学教授（気象学（大気環境））

おおば きょうこ
大場 恭子 東京工業大学特任准教授（原子力社会学、技術者倫理）

福島県

荒竹 宏之 生活環境部長

古市 正二 生活環境部次長（県民安全担当）

小山 吉弘 生活環境部参事兼原子力安全対策課長

（４）議事 ア 県の取り組みについて

イ 有識者からの御意見

ウ 意見交換

※会議配布資料は当課ホームページに掲載しています。

３ 結果

○ 有識者お一人ずつご意見を伺った後、意見交換を行いました。

○ 意見交換においては、県における安全監視のこれまで取組を一層充実させる観点から、主に次の論点について、ご意見を頂きました。

１ 地方自治体の関与の在り方

（１）法令上の権限（国の役割との整理）

（２）組織・体制

（３）専門家・学識経験者の関わり方（外部、内部）

２ 住民参画の在り方

○ 懇談会における有識者意見を踏まえ、本県独自の新たな監視体制についての見直しの方向性について、別紙のとおり整理しました。